

## 第6学年 国語科学習指導案

西和賀町立越中畑小学校

児童 女 3名 計 3名

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう  
教材名 「平和のとりでを築く」(大牟田 稔)  
自分の考えを発信しよう／インターネットと学習

### 2 単元について

#### (1) 児童について

児童は、1学期の説明文「生き物はつながりの中に」の学習において、筆者の主張を読み取り、自分の考えをまとめ、意見文を書く学習を行った。この学習を通して、キーワードや中心文から説明文全体の構成の特徴を読み取ったり、事象と意見とを区別しながら筆者が伝えたいことを自分なりに考えたりすることができるようになってきている。しかし、大切な事柄を落とさずに文章を要約したり、筆者の訴えに対して自分の考えを根拠を明確にして書いたりすることについて、個々に差がある。

そこで、自分の考えや思いを広げたり、より明確にしたりするために、一単位時間にグループでの話し合い活動を設けてきた。以前に比べ、ワークシートに書き込んだことをもとに、自分の考えをはっきり伝えるようになってきている。しかし、根拠をくわしく聞いたり、反論を唱えたりといった話し合いには至らず、深まった活動にはなっていない。

そのため、本単元では、自分の考えを深めたり広げたりするために、話し合いの手だてを明確にし、意見のやりとりが活発にできるように指導していきたい。また、もう一つの手だてとして、十分に並行読書を行わせて、考えの基となるものを増やしていきたい。

#### (2) 単元及び教材について

第5学年及び第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身につけさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことである。また、「書くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えながら文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。」ことである。

本単元では、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかきだすこと。」(読むことウ)、「考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。」(書くことア)、「書いたものを発表し合い、表現に仕方に着目して助言し合うこと。」(書くことカ)を重点に指導する。

「平和のとりでを築く」は、原子爆弾によって傷だらけとなった物産陳列館が、多くの人々の平和を願う心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた説明的な文章である。原爆ドームがたどった歴史と世界遺産への道のりが時間の流れに沿って説明され、その後「わたし」として筆者が登場し、原爆ドームが世界遺産であることの意義について語り、まとめている。事実と意見を区別しながら、要旨を読み取る教材として適しているといえる。

「自分の考えを発信しよう」では、「平和のとりでを築く」で読み取った筆者の考えをきっかけにして、平和についての自分の考えをまとめ、発信する学習を行う。その際、自分の考えの根拠となる情報を集めて取捨選択をさせ、効果的な表現方法を考える。このことから、目的や意図に応じて、全体を見通して事柄を整理して効果的に書く学習に適しているといえる。

#### (3) 指導にあたって

第一次では、単元全体に目を通し、「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」で構成されていることを知らせる。そして、学習の見通しと、平和について自分の考えを意見文としてまとめ、発信するという目的を持たせる。そのために、戦争や平和に関する本を読ませながら、自分の考えを深めさせていく。

第二次では、原爆ドームがたどった歴史と筆者の思いについて読み取っていく。それらを、自分の力で表に整理しながら読み進められるようにしたい。また、人々や筆者の思いに対して、それぞれ自分が感じたことを書きまとめる活動を取り入れることで、自分の意見を蓄積させ、第三次への学習につなげていきたい。と同時に、筆者の主張に対する自分の考えを互いに交流させる場を設定し、読みを深めさせたい。

第三次では、第二次で読み取った筆者の考えや、それに対する自分の考えをもとに、意見文を書く。その際、自分の要旨の根拠となる材料を集めさせ、それをもとに文章の組み立てを考え、自分の考えをまとめさせていきたい。そして、情報を発信する会を5年生と合同で開き、学習内容について交流を図る。また、平和に関する意見を述べ合うホームページに掲載したい。

本校の研究主題「自らの思いや考えを表現できる子」に関わっては、次の点に留意したい。

- ①自力解決の場における一人一人に思いや考えをもたせるための指導の工夫として
- ・キーワードや文末表現に着目させながら筆者の考えと事実とを区別してサイドラインを引かせ、筆者の主張を読み取る手がかりとさせる。
  - ・読み取った事柄をシートにまとめ、筆者の主張と事実を区別させたり自分の具体的事例を思い浮かべさせたりする。
  - ・「自分の考えを発信しよう」では、自分の課題に沿って意見文を書く。その際、文章全体の構成の効果を考えさせる手立てとして、今まで習った説明的な文章や意見文の書き方をふり返らせる。また、事実と意見を区別して書くことや、自分の考えを根拠付けさせるために具体例をあげたり引用したりして書くことも紹介する。
- ②交流の場における児童の思いや考えを広げ深めるための指導の工夫として
- ・3人（同学年内）で、課題に対して読み取ったことや考えたことを話し合う時間を設ける。この話し合いを通して、自分の力で整理した事柄を確認したり修正したりし、自分の考えを他の考えと比較したりできるようにしたい。また、自分の考えを再認識したり、相手の考えを理解し合う場としたい。この活動により、自分の考えをより広げたり深めたりすることにつながるようにする。
  - ・筆者が読者に訴えていることについて、自分はどう考えるかを自分なりにまとめ、互いに交流することで、「平和」に対する自分の考えを発信する活動へとつなげていくようにする。
  - ・単位時間の後半「ふり返り」の場で、学習を通して感じたことや考えたことを5年生に向けて発表する機会を設ける。5年生には、印象に残った点について話してもらおう。また、「平和」について自分の感じることをあれば話させるようにしたい。

### 3 単元の目標

- ◎ 筆者が訴えたいことを読み取り、それに対して自分の考えをもつ。
- ◎ 「平和」についてさらに考えるために調べたり話し合ったりし、深まった考えをわかりやすく組み立てて書いて交流する。また、今後も考え続ける意欲を持つ。

#### 【関心・意欲・態度】

- ・筆者の訴えを受けて、自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。

#### 【読むこと】

- ・「平和のとりを築く」という題名が意味することに注意しながら読む。
- ・筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかをまとめる。

#### 【書くこと】

- ・自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考える。
- ・事実と意見を区別して書いたり、対立する意見を取り上げて反論を述べたりしている。
- ・「仮の要旨」から「確定した要旨」への過程で、必要な材料を選び直す。

#### 【言語事項】

- ・文章にはいろいろな構成があることを知り、適切なものを考えている。

### 4 指導計画と評価規準（14時間）

次時	学 習 内 容	関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
一 つ か む	1 単元名、リード文から単元全体の構成をとらえ、学習の見通しをもつ。 大まかな内容をつかみ、感想を持つ。	教材文を読んだ感想を進んで書こうとしている。	文章全体の大まかな内容をとらえている。	新出漢字や読みかえ漢字を正しく読んでいる。 辞典をつかって語句の意味を調べている。
	2 題名と第1段落から読みの課題を共通認識し、全文を読む。 小見出しをつけ、文章構成のだいたいをつかむ。	進んで意味段落に分けようとしている。	事実の段落か意見の段落かを考えて、文章構成をとらえている。	題名に使われている言葉の意味について理解している。
3	原爆ドームがたどった歴史と人々の思いをとらえ、自分の考えをもつ。	課題を解決するために、読みの視点に気をつけながら内容を読み取ろうとする。	原爆ドームがたどった歴史や人々の思いを、正確に読み取っている。	指示語が指している内容について理解している。

二 深 め る		(②～⑧段落)	している。		
	4	原爆ドームの世界遺産登録に至るまでの筆者の思いを読み取り、自分の考えをまとめる。 (⑨～⑪段落)	↓	原爆ドームが世界遺産になるまでの筆者の思いを読み取り、世界遺産に選ばれたことに対して自分の考えをもっている。	事実と考えを区別して理解している。
	5	筆者の主張をとらえ、要約する。(⑫～⑬段落)	筆者の主張をふまえながら、要約文を書いている。	文末表現や叙述の変化から筆者の主張をとらえ、要約文を書いている。	文末表現のちがいを理解している。
	6	題名に込められた筆者の思いを読み取る。	↓	「平和のとりでを築く」という題名から、そこに込められた筆者の思いを読み取っている。	
	7 本時	筆者の主張に対して、自分の考えを書く。	筆者の伝えたいことに対する自分の考えをもち、書こうとしている。	筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。	考えと理由を明らかにして文章を書いている。
		学 習 内 容	関心・意欲・態度	書くこと	言語事項
	三 広 げ る	8	「自分の考えを発信する」を読み、戦争や平和について考え、話し合う。	進んで話し合いに参加し、自分の考えを話そうとしている。	
9		発信する目的と相手、課題、方法を決める。	↓	「平和のとりでを築く」で読み取ったことをもとに、「平和」について自分の課題をもっている。	言葉の意味を辞典で調べたり、わかりやすい言葉に置き換えたりしている。
10		「仮の要旨」としてまとめ、材料を集める。	必要な資料を、進んで集めている。	自分の要旨に説得力を持たせるために必要な材料を集めている。	↓
11		集めた材料をもとに、「仮の要旨」を「確定した要旨」にまとめ、構成メモを書く。	書き方を理解し、組み立てを考えながら書こうとしている。	材料の中から必要なものを選択し、自分の意見が伝わるように組み立てを考えている。	自分の考えと事実を区別するように文末表現等に気をつける。
12 ・ 13		自分の考えを書き、まとめ、推敲する。		事実と意見を区別して書くなど、読み手にわかるように意見文を書いている。	↓
14		できあがった意見文を学年内で交流し合う。 これまでの学習をふり返る。		表現の仕方に着目しながら友達の見文を読み合い、感想を述べあっている。	

5 本時の指導 (第7時 / 14時間)

(1) 目標

○筆者の伝えたいことを読み取り、自分の考えをもつ。

(2) 評価の観点と具体的評価規準

観点	A	B	支援を要する児童への手立て
読む能力	筆者の伝えたいことを読み取り、根拠を明らかにしながら流れに従って自分の意見や考えを書いている。	筆者の伝えたいことを読み取り、3段落構成で自分の考えを書いている。	前時でまとめた要旨や国連ユネスコ憲章、題名から筆者が読み手に「何をしてほしいのか」を考えさせる。

(3) 展開

形態	学習活動と学習内容	教師の支援（・）と評価（＊）	段階
	<p><b>1 本時の課題をつかむ。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     筆者の考えに対して、 自分の考えをまとめよう。                 </div> <p><b>2 「平和のとりでを築く」の述べ方の工夫を確認する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習をふり返りながら、課題を把握させる。</li> <li>・文章構成に目を向けることや、事実と意見を区別するために文末表現に気をつけることを確認する。</li> </ul>	<p>つかむ</p> <p>5分</p>
	<p><b>3 筆者が伝えたいことに対して、自分の意見を書く。 本校の研究に関わる点 ①</b></p> <p>—自力解決— (20分)</p> <p>①前時までに自らでまとめた筆者の伝えたいことや「戦争は人の心の中で生まれる。」について考えたこと、題名に込められた筆者の思いや願いについて考えたことを読み返す。(微音読)</p> <p>②下書きを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【序論】 「平和のとりでを築く」で筆者が読み手に伝えたいことと自分の思い。</li> <li>・【本論】 序論で述べた自分の思いの根拠となる事実や考え、感じたこと。</li> <li>・【結論】 実現に向けて、どんなことをしていけばよいかを書く。</li> </ul> <p>—学年内での話し合い— (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下書きを交換して読み合う。</li> <li>・お互いの感じ方、考え方のちがっているところや同じところを指摘し合ったり、わかりやすい説明が成されているところを認め合ったりする。</li> </ul> <p>③できあがったら微音読して読み返し、おかしい文になっていないか（主語と述語がねじれていないかなど）確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の伝えたいことは、前時までにまとめさせる。(黄色のカード)</li> <li>・筆者の伝えたいこと、自分の感じたことや考えたこと、自分の考えの実現に向けてできることを明確にわけさせるため、ワークシートを用意する。</li> <li>・ワークシートに書く内容の手がかりとするために、今まで学習して書きためてきた自分の考えなどを読み返させる。</li> <li>・筆者の伝えたいことに対して、自分はどう思うかそれはなぜかを具体例(身の回りの出来事やニュース・新聞で得た知識など)を挙げさせながら明確に書かせる。</li> <li>・前記の実現に向けて、個人または世界の人々がどんなことをしていけばよいと考えるかを具体的に書かせる。</li> <li>・友達の下書きを読んだり、話し合いで新たに思ったりしたことを、必要に応じて下書きに加筆修正させる。</li> <li>・お互いの感じ方、考え方を明らかにし、平和についての読みを深めさせたい。</li> <li>・つなぎ言葉を使いながら、仕上げることに留意させる。</li> <li>・指定された時間まで余裕があったら、お互いに読み合い、簡単に感想を伝えあえるようにする。</li> </ul> <p>*筆者の伝えたいことに対する自分の考えをもつことができる。 (ワークシート・発表)</p>	<p>深める</p> <p>30分</p>
	<p><b>5 まとめる。 本校の研究に関わる点 ②</b></p> <p>○できあがった下書きを5年生に紹介する。(代表児童)</p> <p>○5年生の発表を聞き、感想を述べる。</p> <p>○自己評価する。</p> <p><b>6 次時の学習内容を知る。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生の発表を聞く際、以下のことに気をつけながら聞くよう指示する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生の聞く視点 「何を、どうして特集にしたいのか。」</li> <li>・6年生の話す視点(例) 「○○(伝える相手)だったら、××を知りたいと思う。わけは～。」</li> </ul> </div>	<p>まとめる</p> <p>10分</p>

(4) 板書計画

<p>まとめ (個人ごとに書いたものをはる。)</p>	<p>★構成メモを書こう ・文章構成について (二段落構成になるように) ・文末表現について (事実と意見が区別されるように) (統一した終わり方になるように) すだ。すである。</p>	<p>★筆者の伝えたいことは・・・ 前時に児童が書いた文 前時に児童が書いた文 前時に児童が書いた文</p>	<p>課題 筆者の考えに対して、 自分の考えをまとめよう。</p>
---------------------------------	---	--	---

(5) 児童の実態と指導の重点 (省略)